

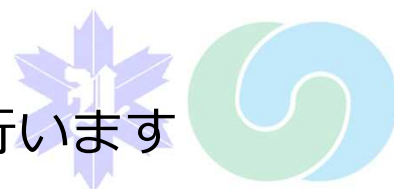
つくば市記者会 御中

発信日：令和6年（2024年）1月19日（金）

発信元：つくば市 政策イノベーション部 科学技術戦略課

■取材依頼 ■周知依頼 □募集告知 □その他

茨城県立並木中等教育学校において 住民意向把握の新たな手法の効果検証を行います



つくば市は、「つくばスーパーサイエンスシティ構想」を推進する上で、住民意向の把握が重要だと考えています。そこで今回、茨城県立並木中等教育学校3年生約160名の協力のもと、住民意向を把握するための新たな手法の検証と、効果的な情報発信の検討を行います。

【日時】 令和6年1月24日（水）14:40～15:45

【場所】 茨城県立並木中等教育学校 大教室（並木4丁目5-1）

【検証内容】 ・「つくばスーパーサイエンスシティ構想」についての認知度調査
・調査結果の可視化
・調査結果を踏まえたグループディスカッション

【主催】 つくば市、茨城県立並木中等教育学校

【協力】 つくばスマートシティ協議会（株式会社ハンマーバード）

【取材方法】 取材を希望される場合は、1月23日（火）12:00までに問合せ先までご連絡ください。

茨城県立並木中等教育学校での新しい住民意向把握手段の検証と効果的な情報発信の検討について

【背景】

スマートシティ／スーパーシティは、地域課題に対して、デジタルやロボットなどの先進的な技術を導入し解決へと導く街づくりです。一方、海外では、住民の理解を得ないままこうした技術の導入を進めた結果、住民の反対運動が起こり、とん挫した事例もあります。

また、住民の理解を得るため、これまでは紙面やホームページなどで情報提供を行ってきましたが、住民の意見や理解度を知りうる手段がほとんどありませんでした。

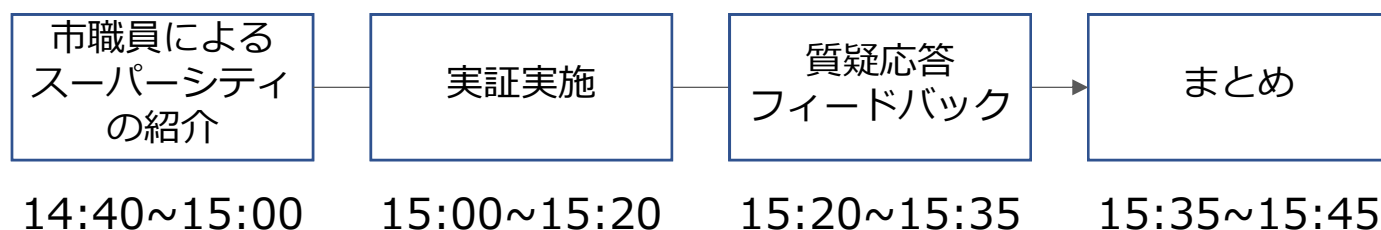
そういった背景から、つくばスーパーサイエンスシティ構想を住民理解を得ながら進めていくために、新たな住民意向把握手段の検証と効果的な情報発信の検討を行うものです。

【検証内容】

並木中等教育学校3年生約160名に協力いただき、専用のウェブアプリケーションを活用してつくばスーパーサイエンスシティ構想に関する認知度や理解度を計測する実証を行います。

生徒の方々には一人一台支給されている端末から、各設問に回答いただきます。その結果から属性に応じて回答に偏りがあるのか、より情報提供を手厚くするためにはどのような施策を講じることがよいのかをグループで話し合ってもらい、提案してもらいます。

【当日の流れ】



※スケジュールは当日の状況によって変更となる場合がございます。